



令和3年度

# 園だより 11月号

福)五和会

保育所型認定こども園

五和保育園

緊急事態宣言が解かれ、島田市のコロナ感染もひと段落し、少し明るい兆しが見えてきた10月でした。10月2日土曜日には3.4.5歳の運動会を22日には年長児の“グリーンナイト”を開くことができました。



## ■自分の身体を支える力

## ■自分の身を守る力

## ■友達と楽しく遊び、心をつなげる力

そんなものを目指し、毎日楽しみながら、その子の小さな変化を担当たちは大事にしながら積み重ねてきました。

「〇〇をできるようにする」という目標にしてしまうと、できない子は嫌になるし、できてもそれで終わりになってしまいます。目標を「楽しむ」にし、「子どもの変化」を着目点にしました。それなら子ども達は嫌な思いをしていません。運動会が終わっても、「まだやりたいよ」と運動会ごっこを楽しむ心はずっと続いています。

## 目標を「心の中の力」とすると、継続して行く

### これからの教育「人に教わる」⇒「自ら学ぶ力」に

やらされる中で行った事は、行事が終わるとそれで消滅してしまいます。例えば受験を目標にして勉強してすると受験が終わると目標をなくしてしまうという話はよく聞きます。でも、目標が「自分の成長ややる気という、自分の心の中の力」となると、それは継続して行くものです。

年長が10月22日に行ったグリーンナイトも「自分たちでやりたい事を考え、実現していった一日でした」親御さんからの感想からも「学びの姿」をいっぱい感じ取っていただきました。



## 祝婚歌

吉野弘

二人が睦まじくいるためには  
愚かである方がいい  
立派すぎない方がいい  
立派すぎることは  
長持ちしないことだと気付いている方がいい  
完璧をめざさない方がいい  
完璧なんて不自然なことだと  
うそぶいている方がいい  
二人のうちどちらかが  
ふざけている方がいい  
ずっこけている方がいい  
互いに非難することがあっても  
非難できる資格が自分にあったかどうか  
あとで  
疑わしくなる方がいい  
正しいことを言うときは  
少しひかえめにする方がいい  
正しいことを言うときは  
相手を傷つけやすいものだと  
気付いている方がいい  
立派でありたいとか  
正しくありたいとかいう  
無理な緊張には  
色目を使わず  
ゆったり ゆたかに  
光を浴びている方がいい  
健康で 風に吹かれながら  
生きていることのなつかしさに  
ふと 胸が熱くなる  
そんな日があってもいい  
そして  
なぜ胸が熱くなるのか  
黙っていても  
二人にはわかるのであってほしい

## 「祝婚歌」身近な人への接し方

眞子様と小室圭さんとの結婚報道で、ある新聞が右の祝婚歌を贈っていました。私事ですが、36年前に自分の結婚式で恩師の近藤先生(竹下在住)に贈っていただいた詩でした。読み返してみると、「結婚」だけでなく、「身近な人への接し方」家族・子ども・職場の同僚等への関係性の作り方等、大切なことが書かれていると思いました。「正しさの押し付け」や「あるべき論の振りかざし」「簡単に人を非難」あー、いっぱいやってきた と反省反省。

コロナ禍で、なんだかストレスの溜まった私たちの心。

## 「無理な緊張」をしないで

今一度、子ども達と「ゆったり」「ゆたかに」

# 11月の行事

## 園の行事

		園の行事
1	月	総合防災訓練
		10月14日の火災から学んだことを訓練に活かします。 先日の火災発生時刻 9:20 に始めます。登園が重ならないようにお願いします。
2	火	体操教室（年中・年長）
3	水	
4	木	
5	金	祖父母招待日
		9:10すみれ 9:40たんぽぽ1さくら1 10:10たんぽぽ2さくら3 11:10たんぽぽ4さくら4
6	土	0.1.2歳児 生活発表会
		子どもの登園時間と保護者がホールに入室できる時間が違います。時間を確認して下さい。 早めに来て、駐車場にもホールにも入れませんので、時間通りの行動をお願いします。
7	日	
8	月	大池先生による音体指導（年中・年長）
9	火	音楽教室（年中） ぴかっと教室（年長）
10	水	花育教室（年長）
		一人一鉢お花を植え、育てます。卒園式は、自分たちで育てた花の中で行います。
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	七五三
16	火	体操教室（年中・年長）
17	水	おにぎりの日
18	木	
19	金	祖父母招待日
20	土	3.4歳生活発表会
		お便りがまた出ます。ご覧ください。
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	

### 《10月14日 五和保育園の近隣火災》

ちょうどその時、私は1歳児のお部屋で、子ども達のわらべ歌を見ていたのです。「先生火事です」の保育士の声に、慌ててターミナルにから外を見ると、お寺の屋根から大きな炎が！！大きな声で「火事！火事！」と必死で叫びながら、お寺に向かったのです。実際はお寺の横のお宅が燃えていたのですが、本当に心臓が飛び出すくらいビックリした事件でしたが、いろいろなことを学ばせていただきました。今、園内のマニュアルを見直す話し合いをしています。

また、お子さんの安全をお知らせするのがお昼近くとなり、ご心配をおかけしましたことお詫び申し上げます。

●毎月行っている避難訓練は本当に大事な訓練 子ども達は、慌てることなくいつもの訓練通りに、避難ができました。保育士達も、リーダーを中心に子ども達の命を守る為に必死に動いてくれました。

#### ●初期消火の重要性

消防車が来るまで、本当に長く感じる時間でした。初期消火の段階でいかに延焼を食い止めるかが重要と痛感しました。

### 《地元消防団の方々の支えに感謝》

在園児・卒園児の保護者の方々がたくさんいて、目で見守りを下さいました。地元消防団活動に支えていただいている事にこの有事に気付くことができました。心から感謝申し上げます。

